

23年以上の試験実績 累計約**36**万人の利用者数



資格認定 “設備に強いオペレーター”

自主保全士通信教育

設備が変わる

不具合の発生しない
きれいな設備になります。

人が変わる

オペレーター1人ひとりの
考え方や意識・行動が
変わります。

現場が変わる

生産性の高い最適な
職場体質に変わります。

多くの企業で活用されている資格です。

次世代に対応できる “設備に強いオペレーター”

通信教育で、いつでも、じっくり学び、確かなスキルに

添削レポート5単位分修了後に **認定試験** にチャレンジ！

在宅勤務の方にもオススメです

合格すると **「自主保全士」** に認定

通信教育でも資格取得!!





「自主保全活動」とは、オペレーター1人ひとりが自分の使っている設備を管理でき、設備の正しい姿を維持する活動です。そのためには、自分の設備は自分で守る、いわゆる『設備に強いオペレーター』を現場に浸透させる必要があります。オペレーターは、オペレーションのみではなく、保全の知識を身につけることで、迅速な異常発見や簡単な修理・改善ができるようになり、重大な故障を未然に防ぐことができるようになります。この能力を身につける効率的な手段が、「自主保全士認定制度」です。

「自主保全士」が「現場」を変える

「設備」が変わる

自主保全士取得のメリットは、設備の専門家に任せず自分の設備は自分がしっかり守る意識が定着したこと。

その結果、設備がいかにも止まらないようにするか、故障の未然防止はどのようにすれば良いかという意識が芽生えた。その結果、不具合の発生しないきれいな設備になりました。

(自動車系：T社)

「人」が変わる

当初の自主保全士取得は、製造部門のみだったが、技術部門やアルバイトにも受験対象を拡大。自主保全士の有資格者が増加するにつれて、一人ひとりの専門用語への理解が深まり、技術的な専門用語を含めた会話ができるように。部門を跨いだ専門用語の共通化によりコミュニケーションアップ！

(非鉄金属系：R社)

通信教育のコース概要

受験資格

- 1級 ▶ 実務経験4年以上
- 2級 ▶ 実務経験0年(不要)

実務経験については、公式サイトをご確認ください。

スケジュール

レポート(5単位分)

- 申込期限 ▶ 開講前月12日まで
- 開講日 ▶ 毎月1日
- 受講期間 ▶ 5ヵ月間(在籍:8ヵ月)

- 教材(テキスト5冊)は、開講日直前に送付します。

認定試験(4回/年)

実施月 ▶ 3・6・9・12月

- 受験には、各実施月2ヵ月前の末日までにレポート添削が修了する必要があります。
- 認定試験結果が不合格の場合、1回に限り、次回の認定試験を追試験として受験可能です。

認定基準

全5単位の添削レポートを修了し、かつ認定試験にて合格

- 添削レポート、認定試験には、各々合格点が設定

受講費(税込)

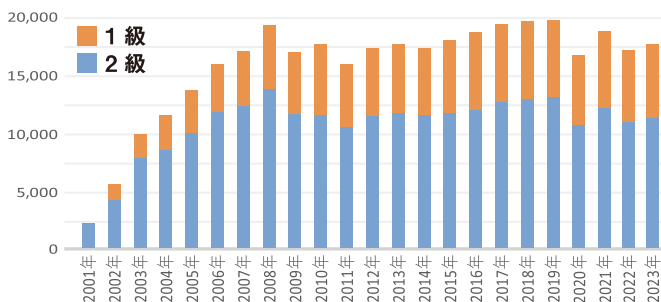
- 1級 ▶ 一般 ¥36,300円(税込) 特別 ¥33,000円(税込)
- 2級 ▶ 一般 ¥31,900円(税込) 特別 ¥28,600円(税込)

- 特別受講料は、1回の受講申込で10名以上(1,2級あわせて)の申込みの場合、または公益社団法人日本プラントメンテナンス協会の会員に限り適用されます。

20年以上の試験開催と幅広い製造業での利用実績

▶ 2001年から現在に至る23年の試験実績

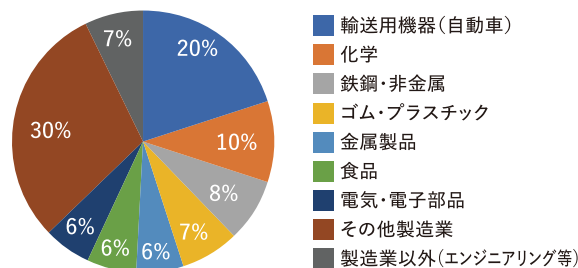
▶ 累計利用者 約36万人の利用実績



級別申請者の推移(検定試験、オンライン試験、通信教育の合計)

▶ 毎年450企業・団体での活用実績

▶ 累計認定者数22万人以上の製造現場への輩出実績



団体申込の業種別傾向

通信教育のお申込みは、公式サイトから



<https://www.jishuhozenshi.jp/>

お問い合わせの際は、公式サイト内のお問い合わせフォームから



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance